

## 研究課題名 骨盤内臓全摘術が及ぼす筋肉量変化の検討に関する情報公開

### 1. 研究の対象

2006年6月から2018年12月の間に、当院で骨盤内臓全摘術を施行した123症例の患者さん

### 2. 研究目的・方法・研究期間

骨盤内臓全摘術は局所進行直腸癌や婦人科・泌尿器進行癌に対して現在唯一根治を得られる可能性がある術式であります。その一方で、当術式は高侵襲を伴う手術であり、術後患者のADLは低下し、筋肉量の低下につながる可能性は否定できません。消化管・泌尿器・生殖器の切除を要する骨盤内臓全摘術が術後に与える実際の筋肉量変化や手術時の骨盤内における血管処理が及ぼす筋肉量変化に関する報告は現在のところ存在していません。

本研究では、骨盤内臓全摘術が及ぼす筋肉量変化について術前後のCT画像を用いて後方視的に検討し、上記対象症例の臨床情報を解析し、報告します。

研究期間は実施承認日から2021年12月31日を予定しております。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、手術内容、画像データ、合併症などの発生状況、カルテ番号、生年月日、イニシャル、病理検体番号 等

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

#### 研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科 上原 圭

TEL 052-744-2222